

学園の復旧・復興の取り組み

平成28年熊本地震に伴う本学園の施設設備に関する災害復旧について



本年4月14日(木)、16日(土)に発生した熊本地震及びその後の度重なる余震に伴い、本学園の施設設備に甚大な損害が発生しました。その後、余震も徐々に減少化傾向にあることから、本格的な被災状況調査を約3ヶ月にわたり実施し、ようやく被害状況とそれに伴う復旧工事の概要等が判明しました。現段階では、九品寺キャンパス及び武蔵ヶ丘キャンパスの施設設備に関しては、それぞれの建物に被害の大小の差はありますが、全棟に何らかの損害を受けていること、その損害状況により復旧工事の内容や期間が異なることから、資金的手段でも十分検討しつつ、可及的速やかに復旧計画を策定しているところです。学生・生徒・園児及び教職員が安全かつ安心して就学でき、教育・研究ができるインフラ・環境を確保すること、そして安全確保を第一義として、既に着手可能な箇所から工事を開始しています。

熊本県、熊本市より

避難所等開設による御礼について

避難場所が不足する中、本学園の施設をいち早く開放し、多くの避難者を受け入れ支援活動を行ったとして、熊本県知事、熊本市中央区長より感謝状と御礼のお言葉をいただきました。被災された皆さまの生活が一日も早く元にもどるよう本学園も全力で復興に努めて参ります。

教職員表彰について

平成28年9月14日(水)、平成28年4月に発生した熊本地震において、特に功労のあった教職員へ表彰式を行いました。

熊本地震の前震、本震後、昼夜を問わず、避難者の対応や学生、生徒、教職員の安否確認、施設の安全点検、復旧等に特に尽力した教職員への表彰式を行いました。



避難訓練を実施しました

平成28年10月6日(木)九品寺キャンパス、武蔵ヶ丘キャンパス、11月10日(木)附属こども園において避難訓練を実施しました。授業再開時の5月10日(火)には地震を想定した訓練でしたが、今回は学内で火災が発生したと想定しての避難訓練を実施しました。教職員、学生・生徒・園児を対象に管轄の消防署協力のもと、緊張感漂う雰囲気の中での訓練となりました。避難誘導のルートを再確認し、防災、防火への意識を高めるよい機会になったのではないかと思います。また、11月4日(金)には初回から参加している全国的な防災訓練「シェイクアウト訓練」を行いました。今後もより実践に即した想定での訓練を通して、一人一人の防災や防火に対する意識向上と日々の安全確保につなげていきたいと思います。



学校法人尚絅学園 熊本地震復興支援募金について

学校法人尚絅学園熊本地震復興支援金受け入れについてのご報告

このたびの平成28年4月14日、16日以降に発生した一連の地震により、数多くの皆様にご心配をいただき、お見舞と激励のお言葉並びにご支援のお申し出をいただいております。心より御礼申し上げます。

熊本地震で被災した本学園の学生・生徒・園児への就学支援や、校舎等の修復といった教育・研究環境の原状回復等を目的として立ち上げました『学校法人尚絅学園 熊本地震復興支援募金』に対し、数多くの皆さまから温かいご支援を賜りました。平成28年10月31日までにお寄せいただきました支援募金につきましてご報告申し上げます。

なお、今後も就学支援や復興活動費用として継続して活用させていただきたく、引き続きご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

○支援募金総額……9,822,516円(34件)(平成28年10月31日現在)

いただいた寄附金の用途等につきましては、改めて尚絅学園のホームページでご報告させていただきます。

〈問い合わせ先〉 学校法人尚絅学園 学園事務局総務部経理課(平日9:00~17:00)

〒862-8678 熊本中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 E-mail:keiri@shokei-gakuen.ac.jp

尚絅大学 尚絅大学短期大学部

尚絅地域連携推進センター

菊陽町で異文化「体感」 ～菊陽・ニンジンmeets 韓国・台湾～

平成28年10月15日(土)、武蔵ヶ丘キャンパスにて、『菊陽まち遊び』の企画の一つである『菊陽町で異文化「体感」～菊陽・ニンジンmeets 韓国・台湾～』が開催され、尚絅大学から文化言語学部と生活科学部の教員と学生が講師・スタッフとして参加しました。

企画の前半は、韓国と台湾の文化の紹介やトラベル会話の練習、後半は菊陽町特産のニンジンを使ったアレンジアジア料理をみんなで調理しました。旅行先で使える便利な韓国語・中国語を覚えたり、ニンジンがたっぷり入ったチヂミを試食したりと、参加者の方々と楽しい一日を過ごせました。



尚絅大学文化言語学部と大津町の肥後おおづ観光協会との連携協力に関する協定の締結

尚絅大学文化言語学部は大津町の肥後おおづ観光協会との間で連携協力に関する協定を締結いたしました。本学部は同協会主催の祭りなど各種イベントや観光マップの外国語化などで学生が主体となり関わって参りましたが、この度重なる協力連携を推進するために協定を締結する運びとなりました。今後は本学部の外国語分野や観光分野の学修とその実績、同協会のインバウンド観光の推進を連携させ、地域の発展と人材育成に寄与すべく取り組みを進めて参ります。

尚絅食育研究センター

「郷土料理教室」を実施しました

平成28年10月22日(土)尚絅食育研究センター主催「郷土料理教室」を実施しました。



今年度は、熊本県漁業士会より4名の講師をお迎えして、魚のおろし方、簡単魚料理など教えていただきました。参加した大学生、短期大学部学生24名は、まず魚のおろし方を習い、ひとり一尾ずつサバをさばきました。さばいた魚を使って「サバの味噌煮風ホイル焼き」、「サバの竜田揚げ」、「ブリしゃぶ」、「ブリの握り」、「タイ飯作り」に挑戦しました。普段ほとんど魚を調理しない学生も、ひとり一尾ずつ魚をさばいて、実際においしく食べたことで、「楽しみながら勉強できた」「家でも作ってみたい」「たくさん三枚おろしの練習をしてもっと上手になりたい」など、魚への興味・関心が高まる機会となったようです。また、天草地区漁業士会会长の濱大吾氏による講話もあり、天然魚と養殖魚の違い、食材として養殖魚の安全性など理解も深りました。

尚絅ボランティア支援センター

益城町・テクノ仮設団地で 無料食器市を開催しました！



熊本地震の支援活動の一環として、平成28年8月27日(土)に益城町テクノ仮設団地(約150戸)において、学生による無料食器市を開催しました。当日は本学学生のほか、NPOや長崎国際大の学生の皆さん協力のもと、全国から寄せられセンターで保管していた約150箱の段ボールが1時間足らずでなくなるほど、仮設住宅でお住まいの方々に喜んでいただきました。今後も仮設住宅での定期的な支援活動を行っていく予定です。

尚絅子育て研究センター

第16回公開シンポジウムを開催しました！

尚絅子育て研究センターでは、平成28年7月30日(土)に公開シンポジウムを開催しました。京都教育大学教授の加用文男氏をお招きし、「こどもの発達と遊び～こどもにとって、そもそも遊びとは何か?～」についてご講演いただきました。また、毎月「乳児保育研究会」を開催し、本学附属こども園と連携しながら学外の保育現場の実践者と共同研究に取り組んでいます。さらに、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」において、「子育て環境改善に向けた課題」プロジェクトもすすめています。これら研究成果をぜひ、地域に還元していきたいです！



乳児保育研究会では、日々の保育実践を検討し合っています。